令和7年教育委員会第7回臨時会会議録

開会日時 令和7年6月27日 午前 10時00分

閉会日時 同 上 午前 10時21分

場 所 教育委員会室

出席委員 教育長 小花高子
同職務代理者 井口信二
委 員 久保洋子
委 員 壺内 明
委 員 谷部 憲子

議場出席委員

・教育次長	山崎 淳	・学校教育担当部長	山梨 智弘
・教育総務課長	羽田 顕	・学校施設課長	川端 嘉彦
・学校施設整備担当課長	加藤 義人	・学務課長	大倉 義雄
・教育指導課長	杉山 茂	・学校教育推進担当課長	江川 泰輔
・総合教育センター教育支援課長	二ノ宮 正信	・総合教育センター管理担当課長	松井 美貴子
・統括指導主事	青木 大輔	・統括指導主事	田辺 留美子
・放課後支援課長	宮木 亮	・生涯学習課長	土居 真喜
・生涯スポーツ課長	張替 武雄	・中央図書館長	香川 幸博

書 記 ・教育企画係長 木村 圭佑

開会宣言 教育長 小花高子 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 教育長 小花高子 委員 井口信二 委員 久保洋子

以上の委員3名を指定する。

開会時刻 10時00分

○**教育長** おはようございます。本日は田中委員より欠席のご連絡を頂いておりますが、出席委員は定足数に達しておりますので、令和7年教育委員会第7回臨時会を開会いたします。

本日の会議録の署名は私に加え、井口委員と久保委員にお願いをいたします。

それでは、議事に入ります。本日は報告事項等が3件でございます。

それでは、報告事項等1「葛飾区立日光林間学園指定管理者からの令和6年度管理運営報告の概要について」の報告をお願いします。

学校施設課長。

○**学校施設課長** それでは、「葛飾区立日光林間学園指定管理者からの令和6年度管理運営報告の概要について」のご説明をさせていただきます。

1の「報告趣旨」でございます。地方自治法及び葛飾区公の施設における指定管理者の指定の手續等に関する条例6条に基づき、葛飾区立日光林間学園指定管理者から提出された令和6年度管理運営報告の概要について報告するものでございます。なお、指定管理者として、国際自然大学校・宮ビルサービス共同体を指定してございます。

2の「管理運営報告の概要」でございます。（1）の「宿泊利用件数」ですが、令和6年度は一般利用で643件、移動教室・公用については51件、合計で694件と、前年度より1件の増となっております。

（2）の「宿泊利用人数」につきましては、令和6年度は一般利用で8,514人、移動教室・公用については、7,315人、合計で1万5,829人と、前年度より647人の増となっております。

（3）の「施設利用料金収入実績」でございます。アの「施設利用料金収入額」は、1,920万9,030円でございます。イの「施設利用料金収入の区への還元」でございますが、年度協定書により、施設利用料金収入額が収入見込額を超えた場合につきましては、その超えた額の1割を区に還元することとなっております。令和6年度は、施設利用料金収入額が収入見込額を上回っておりますので、次ページをご覧くださいますと、区への還元額が32万903円となっております。

（4）の「修繕料・植栽管理費」でございますが、施設及び備品の修繕、植栽管理につきましては区から貸し付けられた預り金により、指定管理者が実施しております。アの「指定管理者が実施した修繕」16件でございますが、記載の内容が実施されております。イの「指定管理者が実施した植栽管理」は1件で、樹木調査を行っております。ウの「修繕料・植栽管理費の清算」につきましては、返戻額が28万495円となっております。

（5）の「燃料・光熱水費」につきましては、区から貸し付けられた預り金により、指定管理者が支払を行っており、その清算として返戻額が50万5,248円となっております。

(6)の「自主事業実績」でございますが、アの「主要な実施内容」として、時期・実施内容・参加人数は表に記載のとおりでございます。

次ページをご覧ください。イの「自主事業収益の区への還元」でございますが、年度協定書に基づき、自主事業の実施による収益があった場合には、その収益額の5割を区に還元することとなっており、令和6年度は自主事業の実施による収入があったため、区への還元額は30万1,247円となっております。

(7)の「広報活動実績」でございますが、ホームページの運営、フェイスブック・Instagramへの掲載、パンフレットの作成・配布を通年実施したところでございます。

(8)の「モニタリング及びアンケートの実施」でございます。

アの「指定管理者によるセルフモニタリング」でございますが、指定管理者が自らの業務について、毎月、セルフモニタリングシートを使った自己評価を実施し、継続的な改善に取り組んでおります。

イの「利用者満足度調査」でございます。移動教室を実施した小学校及び一般利用者についてそれぞれアンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めたところでございます。

ウの「実施結果の反映」でございます。セルフモニタリング及び利用者満足度調査の結果について、モニタリング会議等の際に指定管理者と区で協議を行い、サービス向上につなげたものでございます。

(9)の「総括」でございます。一般利用については、前年度比で736人増加し、コロナ禍前と同等の利用状況になったと考えている、というところでございます。

3の「区の重点指導方針」でございますが、年度協定書に基づき、安全・安心な施設管理を徹底していくとともに、豊かな自然や文化に触れ、楽しく学習ができる施設運営を行うように指導してまいります。また、サービス向上への継続的な取組み、積極的な広報活動や自主事業の実施により、一般利用者の集客を図ってまいりたいと考えているところでございます。

次ページに「別紙1」として、「令和6年度日光林間学園の利用に関するアンケート結果」をお示ししてございます。1の「移動教室実施校」51校につきましては、「学園職員の対応」「食事の味付け」「清掃の状態」ともおおむね良い評価を頂いてございます。

2-1の一般利用者へのアンケート結果につきましても、おおむね良好な評価を頂いているところでございます。

次ページをおめぐりいただきまして、2-2は一般利用者の交通手段についてのアンケートでございますが、自家用車の利用が多くなってございます。また、「行き先」につきましては、各観光地のほか、スポーツ施設の利用とございまして、合宿などにご利用いただいている状況も多くあるというところでございます。

おめぐりいただきまして、次ページ以降には「別紙2」といたしまして、学園の財務状況を

お示ししてございます。

私からの説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

○**教育長** ただいまの報告につきまして、ご質問、ご意見などございましたら、お願いいたします。

壺内委員お願いいたします。

○**壺内委員** 各学校ともやはり事前指導が徹底していて、子どもたちの学園生活のマナーがとてもよいということが大体想像できます。そして、迎える側の学園職員の食事や対応、清掃・環境整備も行き届いており、アンケートではおおむね良好ということでよい結果が出ていて、特に小学生についてはとても楽しく思い出に残る学園生活であったのかなと、察することができます。

学園には正規や非正規の職員がいると思いますが、何人程度で維持しているのかを教えてください。

○**教育長** 学校施設課長。

○**学校施設課長** こちらは、指定管理者に業務を委託してございますが、モニタリングの会議で直接10人程度の職員の方々とお話しさせていただいております。

○**壺内委員** 10人ぐらい。

○**教育長** はい。

○**壺内委員** すごいですね。

○**教育長** よろしいですか。

○**壺内委員** はい。

○**教育長** ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

井口委員、お願いいたします。

○**井口委員** 私も校長時代によく利用させていただいたのですが、葛飾区の日光の施設は、東照宮から歩いて行ける距離のところであって、とても恵まれていると思います。

以前はエアコンがなくて、本当にちょっと暑いときには我慢しなければならないような時期があったのですが、何年か前に全部整備されて、とても快適に過ごせるということで、利用価値としては高いと思います。東照宮をはじめとしたそれから日光の歴史・自然に触れるにはとてもいい場所だから、一般の利用も広まっていくといいなというふうに思っています。

施設のことで一つ質問なのですが、古い体育館がありますよね。恐らく区内の学校ではもうないのではないかなというような古い建物で、ギャラリーに上がるところの登り口も、普通ですと階段で上がっていくのだけれども、あの体育館の場合には、壁に固定された直立のはしごを登らないとギャラリーに上がれないようになっています。いわゆる引率の教職員が利用するにも少し危険かなというようなことも考えられるのですが、耐震上どうなのかと

いう問題もあります。指定管理者の報告には関係ないのですが、いい機会なので、体育館の扱いについて質問をしてみたいと思うのですけれども、今後はどのようにしていこうと考えているのでしょうか。

○教育長 学校施設課長。

○学校施設課長 私が実際に現地に伺った際には、利用者の方がいらしたので中身をしっかりと見ることができなかつたのですけれども、やはり老朽化は進んでいると認識しております。

先ほどのお話については、キャットウォークの部分に上がるところの場所だと思いますが、最低限メンテナンスができるような形で、そういった構造になっているかと思っておりますけれども、安全性を鑑みると改善していく必要はあるのかなと思っておりますし、老朽化自体も進んでいるというところですので、体育館をどうしていくべきか検討していく必要があると考えてございます。

○教育長 井口委員。

○井口委員 安全性が心配される施設については、例えばギャラリーの利用を禁止にしてフロアのみ利用可能とするなどのやり方も考えたほうがいいかなと思っております。

ただ、老朽化したから新しく建てるとなると莫大な費用がかかるので、取り壊すということがあっても、建て直すかどうかというのはまた別問題かなと思っております。

移動教室で利用する小学6年生が雨天時にレクリエーションすることについては、入り口のところのフロアで十分賄えると思っておりますので、そのような現状も考慮しながら検討していただきたいなというふうに思います。

○教育長 学校施設課長。

○学校施設課長 移動教室で使用する際は、雨天時など悪天候時のイベントの実施などで使われていますが、一般利用の中でも、例えばバレーボールの団体が利用するようなこともあると聞いておりますので、あり方や老朽している部分の改善等について検討していかななくてはいけないかなと考えてございます。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上で報告事項等の1を終わります。

次に、報告事項等の2「区立幼稚園における弁当食材料費補助の実施について」の報告をお願いします。

学務課長。

○学務課長 それでは、報告事項等の2「区立幼稚園における弁当食材料費補助の実施について」ご説明申し上げます。

まず、1の「目的」でございます。区立幼稚園に通う園児の保護者に対して、昼食の弁当食材料費を補助することで、経済的負担の軽減を図るものでございます。

2の「内容」の(1)補助対象は、区立幼稚園に通う園児の保護者。(2)の「補助対象者

数」は、現在、区立北住吉幼稚園の園児数は25人でございますが、昨年度、途中入園の園児が5人おりましたので、約30人を見込んでございます。

(3)の「補助金額」は、弁当持参日1日当たり400円。月額上限8,000円。

(4)の「申請方法」、(5)の「補助金支給回数」は、対象者からの年度ごとの申請に基づき、区が弁当食材料費を補助いたします。また、学期ごとに年3回支給することを考えてございます。

ここで、区内の幼稚園の昼食の状況について、ご説明させていただきます。まず、区立北住吉幼稚園は給食を実施しておらず、児童が毎日弁当を持参しております。

続いて、区内の私立幼稚園、認定こども園につきましては、給食を毎日提供している施設と、給食の日と弁当の日の両方がある施設、また、区立と同じく弁当持参の施設、この3パターンがございまして、現在のところ、給食を提供している施設に対しては、区が1日当たり400円、月額8,000円を上限に食材料費の補助を実施しております。

一方で、持参の弁当につきましては、区立も私立も補助を行っていない状況でございましたので、区立と私立あわせて、弁当食材料費の補助を開始するものでございます。

区立幼稚園の補助は教育委員会事務局が、私立幼稚園等の補助は子育て支援部が実施をいたします。補助金額は、私立幼稚園等の給食食材料費に対する補助金額と同額とすることで公平を図っております。

資料に戻りまして、3の実施時期でございますが、令和7年9月から私立幼稚園と同時に開始する予定でございます。4の経費見込み額は約100万円を想定しており、5の予算措置は令和7年度第二次補正予算案に計上する予定でございます。金額は今後精査してまいります。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

○教育長 ただいまの報告についてご質問、ご意見などございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、報告事項等の2を終わります。

次に報告事項等の3「『葛飾柴又の文化的景観』の重要な構成要素『旧たなかや』保護の取組状況について」の報告をお願いします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 それでは、「『葛飾柴又の文化的景観』の重要な構成要素『旧たなかや』保護の取組状況について」のご説明をさせていただきます。

「葛飾柴又の文化的景観」は、平成29年度に国の重要文化的景観として選定されております。重要な構成要素として特定されている「旧たなかや」について、当該所有者の所有権が移転する中で、重要な構成要素の滅失となる可能性がありましたが、有形文化財として保存することについて、現所有者の理解が得られました。そのため、これまでの経過と今後の取組みについ

て報告するものでございます。

1 「旧たなかや」の価値推計でございます。文化財保護審査会に諮問した旧たなかやの調査報告書からの抜粋になりますけれども、大正期前半という柴又の中でも最高級の建築であり、柴又の都市史・建築史上、重要かつ貴重な建造物となります。また、向かいの「ゑびす家」とともに参道と連続するファサード、建物を正面から見たときの外観となるものの起点となり、かつ、帝釈天側から見た時のアイストップですね。人の視線を引きつけ、注意を促すためのデザインや要素やオブジェともなっております。加えて、「葛飾柴又の文化的景観」の中心的エリアに位置しており、文化的景観の景観構成要素としても貴重な存在となっております。

2 の「経過」でございます。平成30年2月に「葛飾柴又の文化的景観」が国の重要文化的景観に選定され、そのうち平成31年頃、「葛飾柴又の文化的景観」の重要な構成要素である「たなかや」が廃業となりました。令和4年8月に「たなかや」の土地・建物の所有権が一旦移転し、令和6年8月に現所有者が所有権のほうを取得されました。令和7年6月、今月ですけれども、「旧たなかや」大正期の当初建築部分について、所有者より保存の意向が得られたことから、区の文化財保護審議会に、有形文化財として登録及び指定に向け、諮問を行ったところでございます。

3 の「区指定有形文化財候補建造物」としては、名称は「旧たなかや料亭」。これは今現在、審議中の中で仮称とさせていただきます。所在地につきましては、柴又七丁目3番8号。位置につきましては「別紙」のほうに示しております位置図のほうで示させていただきます。

「今後の予定」でございます。（1）有形文化財としての登録及び指定に係る区文化財保護審議会の答申が出された後、当該告示を行うとともに、所有者が行う保存と活用に関わる計画の策定を支援してまいります。

（2）所有者は、帝釈天参道の風情の継承等のため、店舗活用を検討されておられます。今年度から、建造物の保存と活用に向けた設計を行うこととしておりますが、できる限り早期に進めたいという意向がございますので、文化的景観の補助金交付要綱に基づく当該経費の補助及び補正予算等の措置を検討してまいります。

（3）重要な構成要素としての価値を継承するため、大正期の当初建築部分のみの保存となるため、文化財保護法に基づく現状変更届等の接続が必要となります。文化的価値を保存しながら、これらを円滑に進めていくことができるよう、所有者の支援を行ってまいります。

説明は以上となります。よろしくお願いたします。

○教育長 ただいまの報告について、ご質問ご意見がございましたら、お願いたします。よろしいでしょうか。

それでは、以上で報告事項等の3を終わります。

以上で、本日の議事は全て終了となりますが、その他、何かご意見ご質問等はございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上で令和7年教育委員会第7回臨時会を閉会といたします。ありがとうございました。

閉会時刻 10時21分